



工事成績評定アップ 7つのポイント

公共工事では、工事完了時に「工事成績評定点」として発注者に評価されます。そして、その評価結果が、次の総合評価方式における工事の受注に影響します。そのため、いかにして「工事成績評定点」を上げるかが業績向上のポイントになります。

また、「工事成績評定点」を上げるポイントとは、すなわち顧客満足度を上げるポイントでもあります。そのため、公共工事を施工する会社でなくても、経営戦略上とても重要な事項であるといえます。

工事成績評定点の高い工事現場および現場管理者を約100件調査・取材したところ、7つの共通点が見出されました。それを、「工事成績評定点アップ7つのポイント」としてまとめました。



科学と技術に心を添えて

ハタコンサルタント株式会社

代表取締役 降旗 達生

1. 【改善力】 PDCA サイクルを回して改善する



同じミスを繰り返さないようにPDCAサイクルを回すことは重要です。そのためには、何が評価され、何が評価されなかったかを正確に分析しなければなりません。

2. 【対応力】 コミュニケーションの難しさを知る



発注者、協力会社、社内のコミュニケーションが不十分なために、さまざまな問題が発生しています。相互に簡単には分かり合えないことを意識して、コミュニケーションをとることが重要です。

3. 【調査力】 顧客のニーズとウォンツを先取りする



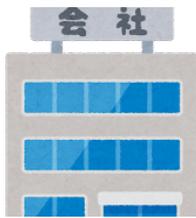
顧客が欲することをしてこそ高評価になります。顧客が何を欲しているのかを先取りして把握し、実行しなければなりません。

4. 【親密力】 住民との対応を強化する



公共工事の場合、税負担をしている住民こそが真の顧客です。しかも、近隣住民には直接の利益がないのに多大な負担を強いられることが多くあります。公共工事のみならず、近隣配慮は工事をスムーズに進行させるポイントです。

5. 【組織力】 会社からのバックアップ体制を構築する



現場単体で施工するのではなく会社全体でフォローして工事進行をバックアップすることは、顧客にとって大きな安心材料です。

6. 【技術力、管理力】 個の力を磨き高める



現場管理者は多忙です。その中で、発注者対応、近隣対応、現場対応を迅速にかつ正確に実施することが高評価の秘訣です。そのためには、物事の優先順位を決めて時間管理を行い、着実に対応していくよう自らを磨く必要があります。

7. 【創造力、発想力】 創意工夫、技術提案を推進する



品質、原価、工程、安全、環境の各項目に対して創意工夫をしたり新たな提案をすることは、工事の質を高めるために重要です。

以上の7つのポイントについて
次回より詳しく解説いたします。

どうぞお楽しみに。

